

日本福音ルーテル教会 女性会連盟 第 24 期 161 号

会報



総主題「神の恵みによって共に生きる」
副主題「喜び、励まし合い、思いを一つにし、平和を求める」

2020. 10. 15

発行 日本福音ルーテル
教会女性会連盟
〒169-0072 東京都新宿区
大久保 1-14-14
発行者 中原 通江
編集者 澤田小枝子
印刷 平山印刷出版

主題聖句

「わたしたちはキリストと共に死んだのなら、
キリストと共に生きることにもなると信じます。」

ローマの信徒への手紙 6章8節

あなたへ



主よ、触れてください

日吉教会牧師

多田 哲

新型コロナウイルスの感染拡大が続いています。4月から始まった自粛要請では、教会も一時閉鎖をして礼拝や集会を休止したところが多くありました。その中で、教会はオンラインで礼拝の様子を配信するなどの工夫をして、なんとか礼拝を続けてきました。確かに、インターネットを通してでも御言葉を聴くことはできます。しかし、教会に招かれて恵みを分かち合うということができなくなりました。また、インターネット環境が整っていないと、教会とのつながりが途切れてしまったかのようになってしまいます。多かれ少なかれ、教会に集まることのできない痛みを誰もが感じたのではないのでしょうか。

京都大学の総長で霊長類学者・人類学者の山極壽一博士によると、人間は視覚や聴覚を共有するだけでは相手に信頼することはできないのだそうです。嗅覚や味覚、触覚など、本来は決して共有できないはずの身体感覚と一緒に、その時その場において体験することで、人間は他人に信頼できるようになるのです。

現代の私たちはコロナ禍が起こる前から、触れること、触れられることに臆病になっていきます。隣人との間に見えない隔ての壁があるようです。コロナ禍はそのことを浮き彫りにしました。イエス・キリストは、疲れた人、重荷を負う人、病に苦しむ人を癒す時、その人に触れてから言葉をかけました。その触れた手から温もりや優しさが伝わります。神の言葉は単なる言葉ではなく、共有できないはずの身体感覚を持つて私たちに触れ、それが私たちの生きる力となります。

人と触れ合うことができない時にも、主があなただけに触れてくださいよう